

基本情報						
教科・科目		国語科・現代の国語		・授業で使用するもの		
担当者		大出 恭史		教科書「探求 現代の国語」（桐原書店） 「大学入試に出た核心漢字3750」（尚文出版） iPad（ロイロノート）		
評価割合（試験：試験外）		試験 :60% 試験外 :40%（漢字テスト、ワークシート等課題の提出内容）				
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。		
		理知（思考力・判断力・表現力等）		論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。		
		探求・叡智（主体的に学習に取り組む態度）		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学習情報						
月	回	単元名	単元目標（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		《〈知〉のコミュニティへ》 ・わからないぐらいがちょうどいい	筆者のものの見方や感じ方を理解するとともに、自己を見つめ、自己の生き方を模索するきっかけを得る。また、自己を取り巻く世界との関わり合い方を考える。	四段落で筆者が述べている「詩の言葉」の持つ力について読み取り、「わからないぐらいがちょうどいい」ということについてどう思うか、話し合う。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
	5	《体験と思索Ⅰ》 ・ふしぎと人生 ・読書は必要か？		「自然科学」と「物語」について、自分なりにその意義を考えてみる。		
文章Ⅰ・Ⅱに示された二人の意見や、資料のグラフを参考にして、読書は「必修科目」か、あるいは「選択科目」でよいのか考える。						
6	定期試験①（令和8年 6月3日-6月5日）					
6		《評論Ⅰ》 ・ほどほどのデザイン	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、日本の文化や言葉について自分の考えを深める。	現在の生活と関わるさまざまな側面から、便利さを追求することや、それを見直す意義について考察し、話し合う。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
	7	《評論Ⅰ》 ・言葉の力  《〈知〉の深化》 ・現代の詩 五編（谷川俊太郎ほか）		文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、日本の文化や言葉について自分の考えを深める。		
第6連の表現に注目し、そこから伝わってくる独特な孤独感について理解を深める。						
7	定期試験②（令和8年 7月15日-7月17日）					
9		《評論解析A》 ・マヨネーズの穴から ・環境世界	評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。	「デザイン」が、生産という営みの最後に行うひと工夫であり、物事の品格を左右するものである点を理解する。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
	10	《評論Ⅱ》 ・サイボーグとクローン人間 ・読む		「環境世界」を構築するうえでの、「ヒト」と「ケモノ」の違いを読み取る。		
文明の変化がどのように起こるかを考える。クローン人間とサイボーグに対する賛否を自分なりに考えてみる。						
「読む」行為のさまざまな意味を把握し、創造的な読みを実践する。						
10	定期試験③（令和8年 10月21日-10月23日）					
11		《評論解析A》 ・人類学から見た言語	評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。	言語学と人類学との視点の相違を踏まえて、言語についての筆者の見解とその見解の根拠を把握する。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
		《実社会Ⅰ》 ・実社会との接点 問いの立て方とオリジナリティ		「オリジナルな問い」を立てるために必要なことについて理解する。		
12		《評論Ⅲ》 ・経済の論理／環境の倫理	文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、社会や個人のあり方について自分の考えを深める。	未来世代と現在世代との「信任」関係において、倫理的な行動の必要性を読み取る。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
		《〈知〉の深化》 「社会」の誕生		対談の内容を詳細に理解し、人間社会の特徴をつかみ、対談の内容を踏まえて、社会のあり方について改めて考える。		
グローバル化する社会で必要とされる「特定の文脈を超えてゆく力」がどのような力であるかを理解する。						
12	定期試験④（令和8年 12月9日-12月11日）					
1		《評論解析B》 ・ゆらぎ	評論の基本的な読み解き方を習得し、論理展開を意識しながら筆者の主要な見解をつかむ。	本文全体の内容を踏まえて、筆者の思索の方法をつかむ。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
		《評論Ⅳ》 ・わかろうとする姿勢		筆者の「理解する」ということに対する見解を理解する。他者を理解するために具体的にどうすることが大切かを読み取る。		
2		《評論Ⅴ》 ・AIの判断 ・言葉を学ぶとは	コミュニケーションに関する文章を読んで理解し、筆者の主張を踏まえた上で社会の変遷や他者と自分との関係性について自分の意見を持つ。	「未来」に対する人間の判断とはどのようなものか、「AIの判断」とはどのようなものか、深く読み取る。	・講義 ・グループワーク ・発表 ・ワークシート	・発表内容 ・ノートやワークシート等の記入内容や状態 ・定期テスト ・小テスト（漢字等）
		《評論解析C》 ・我関わる、ゆえに我あり ・「私」が「主体」であるために		言葉の性質を押さえたうえで、言葉による思考のあり方について考える。		
接続表現などに注意しながら、筆者の見解とその根拠について、正確に理解する。						
筆者の見解を理解することを中心に、本文の内容を詳細につかみ、2つの文章を比較する。						
3	定期試験⑤（令和9年 3月4日-3月6日）					